

平成29年度  
 障害者地域生活支援従事者研修会  
 ～誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて～  
 日 程 表

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
7 / 11  火				受付 12:00～	開講式 12:30～	最新行政情報 (講義)  厚生労働省 吉野 智 氏 13:00～15:00		入所施設から地域生活への移行支援 (講義)  社会福祉法人 名張育成会 市川 知恵子 氏 15:15～17:15		懇親会  17:30～ (1時間30分程度)	
7 / 12  水		障害者地域生活支援の考え方 (講義)  駒澤大学 佐藤 光正 氏 10:00～12:00		昼  食	就労支援 (講義)  大阪市職業リハビリテーションセンター 酒井 京子 氏 13:00～15:00		重症心身障害児者の地域生活支援 (講義)  社会福祉法人 訪問の家 名里 晴美 氏 15:15～17:15				
7 / 13  木		精神障害者の地域生活支援 (講義)  社会福祉法人 ワーナーホーム 寺田 一郎 氏 10:00～12:00		昼  食	誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて ～今求められる地域福祉とは～ (演習)  上智大学 大塚 晃 氏 13:00～18:00						
7 / 14  金		行動援護を理解する (講義)  NPO法人 みらい 藤井 亘 氏 9:00～12:00		昼  食	シンポジウム「相談支援事業と自立支援協議会」 ～地域の障害者福祉の推進に必要なこと～  福岡 寿 氏 (社会福祉法人 高水福祉会)  菊本 圭一 氏(鶴ヶ島市社会福祉協議会) 吉田 展章 氏(NPO法人 藤沢相談支援ネットワーク) 13:00～16:00		アンケート 閉講式 16:10～				

※ 講師、時間割等は都合により変更することがあります。

平成29年度 障害者地域生活支援従事者研修会  
 ～誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて～  
 【カリキュラム】

テーマ	内容	時間数
最新行政情報	支援の前提となる国の福祉施策、制度の理解を深める。	2
障害者地域生活支援の考え方	障害者を一人の地域の生活者として見る視点を出発点に、地域生活支援の基本的考え方を学ぶ。	2
就労支援	地域生活において、また人間の生きがいの大切な要素となる就労について支援のあり方を学ぶ。	2
行動援護を理解する	知的障害者、精神障害者の行動上の困難を支援するサービスとして新たに生まれた「行動援護」。その創設の意義、活用事例、支援のあり方について実践的に学ぶ。	3
精神障害者の地域生活支援	今後、地域では、様々な機能を持つ各サービス提供機関が、細切れにサービスを提供するのではなく、ネットワークを組んで、障害者の豊かな生活を実現するという統一した目標に向かって、それぞれの役割を最大限発揮することが望まれます。	2
入所施設から地域生活への移行支援	ここでは、福祉サービス提供機関のみならず、行政、地域住民をはじめ、医療、保健、教育、労働等隣接領域の各機関、市民団体、一般企業、当事者の会、親の会、各種サークル活動など地域の様々な社会資源と連携した支援から生まれた全国各地の優れた障害者地域生活支援の実践を紹介し、目指すべき支援のあり方を学ぶ。	2
重症心身障害児者の地域生活支援	障害者自立支援法では、各地域の状況に応じ、経験や創意工夫を活かした支援体制の構築が求められている。	2
シンポジウム 「相談支援事業と自立支援協議会」 ～地域の障害者福祉の推進に必要なこと～	ここでは、シンポジウムにより、これからの市町村における地域生活支援のカギを握る「相談支援事業」と地域のネットワーク構築のため注目されている「自立支援協議会」について各地の実践等を交えながらお話しいただく。 また、障害福祉サービスの充実のため、新たに養成されている「サービス管理責任者」のあり方も含めてお話しいただく。	3
まとめ 「誰もが安心して暮らせる 地域社会の実現に向けて」 ～今求められる地域福祉とは～	障害者が安心して地域で暮らすために、どのような地域が望まれるのか、また支援者はどのように支援を行えばよいのか。 グループディスカッションにより研修会を振り返り、理想の地域と支援とは何か、そしてそれを実現するための課題は何かを共有し、それぞれの地域での障害者地域生活支援のステップアップをめざす。	5